

社会福祉法人アパティア福祉会

ハピネスやさと短期入所生活介護運営規程

(事業の目的)

第1条 社会福祉法人アパティア福祉会が運営するハピネスやさと（介護予防）短期入所生活介護（以下「事業所」という。）が実施する基準該当（介護予防）短期入所生活介護の事業（以下「事業」という）の適正な運営を確保するため、人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の介護職員等が、要介護状態又は要支援状態にある高齢者に対し、適正な基準該当（介護予防）短期入所生活介護を提供することを目的とする。

(運営の方針)

- 第2条 事業所の介護職員等は、利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ、健全で安定した在宅生活の助長を図るとともに、その家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることを目的として、入浴・排泄・食事の介護等の日常生活全般にわたる援助を行う。
- 2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスと綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次の通りとする。

- (1) 名称 ハピネスやさと短期入所生活介護
- (2) 所在地 四日市市千代田町325番地1

(利用定員およびユニット数)

- 第4条 当事業所のユニット数は1とし、利用定員は、介護予防短期入所生活介護事業と合わせて10名とする。
- 2 居室はすべて個室とし、災害等やむを得ない場合を除いて、利用定員および居室の定員を超えて利用することはできない。

(設備及び居室等)

第5条 施設が提供する居室は個室とし、居室には、トイレ・洗面所、ベッド・ナースコール、タンスを備えている。

(職員の職種、員数、及び職務内容)

第6条 事業所に勤務する職員の職種、員数及び職務内容は次の通りとする。

なお職員は、併設する通所介護、介護予防通所介護、及び介護予防短期入所生活介護事業を兼務する。

(1) 管理者 1名

管理者は、事業所の職員の管理及び業務の管理を一元的に行う。

(2) 生活相談員 1名

ご利用者の日常生活上の相談に応じるとともに、自らも短期入所生活介護の提供にあたるものとする。

(3) 介護職員 4名以上(常勤換算)

介護職員は、当該施設において要介護者等に入浴、食事の提供等の日常生活上の世話をを行う。

(4) 機能訓練指導員 1名以上

ご利用者の身体機能の維持、向上を目的とした日常生活動作訓練を行う。

(営業日及び営業時間)

第7条 事業所の営業日及び営業時間は次の通りとする。

(1) 営業日 365日営業(年中無休)

(2) 営業時間 午前8時30分から午後5時30分までを日勤帯とし、それ以外の時間帯も夜勤者等で対応可能とする。(24時間体制)

(短期入所生活介護の利用料等)

第8条 (介護予防)短期入所生活介護の内容および利用料は次の通りとし、基準該当(介護予防)短期入所生活介護を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該基準該当短期入所生活介護が法定代理受領サービスであるときは、事業所に支払われる額を控除して得た額とする。

2 前項に定めるもののほか、次に掲げる費用の支払いを受けるものとする。

(1) 食事の提供に要する費用 朝食215円 昼食670円 夕食560円
合計 1,445円/日

(2) 居住に要する費用 2,066円/日

(3) 理美容代 実費

(4) レクリエーション・行事・外出等に要する教養娯楽費 実費

(5) 入居者サービス費(電気製品持込料、付き添いサービス費)

(6) 日常生活において通常必要となる費用で利用者が負担すべき費用は、その都度利用者又はその家族と協議し、同意を得たものに限り実費を徴収する。

3 なお、前項(1)(2)については、負担限度額認定証の提示がある場合は

その限度額までを徴収する。

- 4 前項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をし、支払いに同意を得たうえで徴収する。

(短期入所生活介護の内容)

第9条 介護サービス計画に基づき、ご利用者の心身の状況に応じて自立の支援と日常生活の充実に資するよう適切な介護を行う。

- 2 栄養ならびにご利用者の身体状況・嗜好等を考慮して、適切に食事の提供を行う。
- 3 1週間に2回以上、適切な方法により入浴または清拭を行う。
- 4 ご利用者の心身の状況に応じ、適切な方法により、排泄の自立について適切な援助を行う。
- 5 おむつを使用せざるを得ないご利用者については、おむつを適切に交換する。
- 6 前項に規定するものの他、離床、着替え、静養等の援助を適切に行う。

(その他のサービスの提供)

第10条 施設には、教養娯楽設備を備えるほか、適宜ご利用者のためにレクリエーションおよび季節ごとの行事の機会を設ける。

- 2 常にご利用者の家族等との連携を図るように努める。

(事業の実施地域および送迎の実施地域)

第11条 事業の実施地域は、四日市市に限定される。

- 2 通常の送迎の実施地域は、四日市市北部（八郷地区、大矢知地区、下野地区、保々地区、富洲原地区、羽津地区、富田地区、海蔵地区）とする。なお、他の地域についても相談に応じる。

(サービス利用にあたっての留意事項)

第12条 事業所職員は、サービス利用にあたり利用者が留意すべき事項を説明し、理解を求める。

- (1) 事業所の諸規則を守ること。
- (2) その他、公序良俗に違反する行為の禁止

(緊急時における対応方法)

第13条 介護職員等は、(介護予防)短期入所生活介護を実施中に、利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する等の措置を講ずるとともに、管理者及び家族に報告しなければならない。

- 2 万一、(介護予防)短期入所生活介護の提供中に故意又は過失による事故が発生した場合、生命の安全を図る措置を講じるとともに家族、市町村、居宅介護支援事業所等に報告し、記録を記載し、各機関と連携して問題解決にあたるものとする。

(虐待防止のための措置に関する事項)

第14条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的開催するとともに、その結果について、従業員に周知徹底を図る。
- (2) 虐待の防止のための指針を整備する。
- (3) 従業員に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施する。
- (4) 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。

- 2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従事者又は養護者(利用者の家族等高齢者を現に養護する者)による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(身体拘束の制限)

第15条 事業所は、サービス提供にあたって、利用者の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わない。

- 2 なお、緊急やむを得ず身体拘束を行う場合には、ご家族等の同意を得たうえで身体拘束等を行い、その態様および時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得ない理由を記録する。

(非常災害対策)

第16条 事業所は、非常災害に際して必要な具体的計画の策定、非難、救出訓練の実施等の対策の万全を期さなければならない。

- (1) 消防法第8条の規程に基づく「ハピネスやさ在宅介護サービスセンター消防計画」において、事業所における防火管理業務について必要な事項を定めて、火災、震災、その他の災害の予防及び人命の安全並びに被害の極限防止を図る。
- (2) 事業所には防火管理者を置き、その者は防火管理について一切の権限を有し、消防計画の策定及びこれに基づく消防業務を実施する。

(苦情処理)

第17条 事業所は、提供した（介護予防）短期入所生活介護サービスに対する利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、相談窓口の設置、苦情処理の体制及び手順等必要な措置を講ずるものとする。

(その他運営についての留意事項)

第18条 本事業の社会的使命を充分認識し、常に職員の質的向上を図るため研修等の機会を設けるとともに、業務体制を整備する。

(1) 採用時研修 採用後1ヶ月以内に1回

(2) 継続研修 年2回

2 職員は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。

3 職員であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、職員でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、職員との雇用契約の内容とする。

4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、社会福祉法人アパティア福祉会が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

この規程は、平成26年8月1日から施行する。

この規程は、平成27年5月1日から施行する。

この規程は、令和元年10月1日から施行する。

この規程は、令和3年3月1日から施行する。

この規程は、令和3年12月1日から施行する。

この規程は、令和4年9月1日から施行する。

この規程は、令和5年12月1日から施行する。

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

この規程は、令和6年8月1日から施行する。